タケモトデンキ株式会社

超音波 離床検知システム

簡易コールシステム
コンセントコール

Care愛 取扱説明書

親機	：Ci-M1（-P）
子機	：Ci-S1
超音波センサー	：Ci-U1
ペンダント	：Ci-P1
コールスイッチ	：Ci-PB1

MEMO

Care愛 取扱説明書

ーーーー目次ーーーー

１．ご使用になる前に	５
１－１．安全上の注意	５
１－２．特記事項	７
１－３．免責事項	７
１－４．設置に関する注意	８
１－４－１．コンセント間通信について	８
１－４－２．無線通信について	８
２．システム概要	９
３．初期設定をする	１０
４．システムの使い方	１２
４－１．呼出時の対応	１２
４－２．一時停止の使い方	１３
５．親機の取扱説明	１４
５－１．親機の役割	１４
５－２．設置方法	１５
５－３．親機の使い方	１６
５－４．親機の機能	１６
５－４－１．呼出状況を見る	１７
５－４－２．一時停止をする／一時停止を解除する	１７
５－４－３．呼出履歴を見る	１７
５－４－４．呼出分布を見る	１７
５－４－５．稼働時間を設定する	１８
５－４－６．一時停止時間を設定する	１８
５－４－７．一時停止履歴を見る	１８
５－４－８．リセット復帰時間設定する	１９
５－４－９．メロディ音量を設定する	１９
５－４－１０．対象者毎にメロディを設定する	１９
５－４－１１．受信レベルを確認する	２０
５－４－１２．時計を設定する	２０
５－４－１３．グループ番号を確認する	２０

６．子機の取扱説明　２１
６－１．子機の役割　２１
６－２．設置方法　２２
６－３．子機の使い方　２３
７．超音波センサーの取扱説明　２４
７－１．超音波センサーの役割　２４
７－２．設置方法　２５
７－３．超音波センサーの使い方　２６
７－４．設置箇所について　２７
８．ペンダントの取扱説明　２９
８－１．ペンダントの役割　２９
８－２．設定方法　３０
８－３．ペンダントの使い方　３２
８－４．ペンダントの機能　３３
８－４－１．ペンダントにて一時停止をする　３３
８－４－２．ペンダントにて一時停止を解除する　３３
９．故障かなと思ったら　３４
９－１．機器を初期化する　３４
９－２．トラブルシューティング　３６
設置時の注意事項　３８
９－３．期待寿命及び推奨交換時期　４０
９－４．定期点検について　４１

裏面．保証書

1．ご使用になる前に

1－1．安全上の注意　必ずお守り下さい

人への危害・財産の損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
ご使用の前に、この「安全上の注意」を必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。

	人が死亡または傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	してはいけない禁止内容です。
	必ず実行しなければならない内容です。

◆電源プラグのほこりは定期的にとって下さい。
感電・火災の原因になります。
プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いて下さい。

◆電源プラグは根元まできちんと挿し込んで下さい。
挿し込みが不十分だと、感電・火災の原因になります。

◆コンセントの定格を越える使い方をしないで下さい。
挿し込みが不十分だと、感電・火災の原因になります。
AC200Vでのご使用はしないで下さい。

◆本体は精密機器です。落下・分解・改造はしないで下さい。
傷んだまま使用すると、感電・火災の原因になります。

◆濡れた手で触らないで下さい。
濡れた手で電源プラグを抜き挿しすると感電する恐れがあります。

警告

◆本体に異物や金属物を入れないで下さい。
金属が入るとショートし、感電・火災の原因になります。

警告

◆本体は防水・防滴構造ではありません。
万一内部に水が入ったときは、すぐに電源を切り、
販売店にご連絡下さい。

警告

◆コード、ケーブルをこの機器以外で使用しないで下さい。
火災・感電の原因になります。

警告

◆ペンダントの充電池は取り外さないで下さい。
充電池は専用のものを使用しています。
ペンダントの故障、火災の原因になります。

注意

◆本体を直射日光が当たる場所、湿度が高い場所、塵埃の多い場所
に設置はしないで下さい。

注意

◆水平でない場所や振動の激しい場所に設置しないで下さい。
落下により、破損やけがの原因になることがあります。

注意

◆火気を近づけないで下さい。
火災の原因になることがあります。

注意

◆活線状態（電源が入っている状態）でのケーブルの抜き差しは
しないで下さい。
機器故障の原因となります。

１－２．特記事項

【コンプライアンスについて】
本製品に使用している特定小電力無線機器は、全て「電波法 38 条の 6」による「技術基準適合証明」を取得し、法律を遵守しています。
その証として、当社無線機器には全て総務大臣の登録証明機関によるラベルを貼付しています。
このため当社無線製品はお客様に安心してご使用頂けます。

【無線の通達距離について】
本製品の無線到達距離は、使用場所、建物の構造など環境によって異なりますのでご使用前に必ず動作確認をお願いします。（最大通達距離は「屋外での見通し」の場合です。）
無線が到達しなければ中継器を設置する必要があります。

【無線の影響について】
ペースメーカー装着者や医療機器に対する無線電波の影響について、平成２５年５月総務省発行の指針には、「携帯電話端末を植込み型医療機器の装着部位から約１５ｃｍ程度以上離すこと」と示されています。
当社の無線機器は特定小電力波を採用しています。この特定小電力は携帯電話の約１/100 の出力です。
従って、これらを使用する無線機器が人体や医療機器に与える影響はきわめて小さいと判断できます。

【コンセント間通信距離について】
当社のコンセント間通信は独自の通信手法で通信距離を安定的に確保しています。
しかし、接続コンセントの負荷数、電気工事環境などに依存して通信距離が変化します。設置時、通信確認は必ず実施して下さい。また、定期的に受信レベルを確認して下さい。
また、当社のコンセント間通信は同一電灯トランス内で通信可能です。電灯トランスが違う場合は通信できませんので御了承下さい。
通信できない場合は、建物の電気系統図をご準備の上、当社までご相談下さい。

【コンセント間通信の医療機器への影響について】
本製品は妨害電波に関する自主規制 VCCI 規格（クラス B）に合格した製品です。
この規格は家庭環境での他機器への妨害電波を規制した規格です。よって本製品はパソコンの発生する妨害電波レベルと同等とお考え下さい。

【防水・防滴】
本製品は防水・防滴構造製品ではありません。水周りでの御使用は充分ご注意下さい。

【その他】
本製品は医療機器ではありません。
本製品はナースコールではありません。

１－３．免責事項

１．本製品の離床検知システムは転倒、転落を直接的に防止するものではなく、あくまでも転倒、転落防止の補助手段として使用するものです。
万一発生した人身事故、災害事故等による損害については、当社は一切の責任を負いません。

２．コンセントコールは報知・連絡用であり、生命救済・犯罪防止を目的とした機器ではありません。
万一発生した人身事故、災害事故等による損害については、当社は一切の責任を負いません。

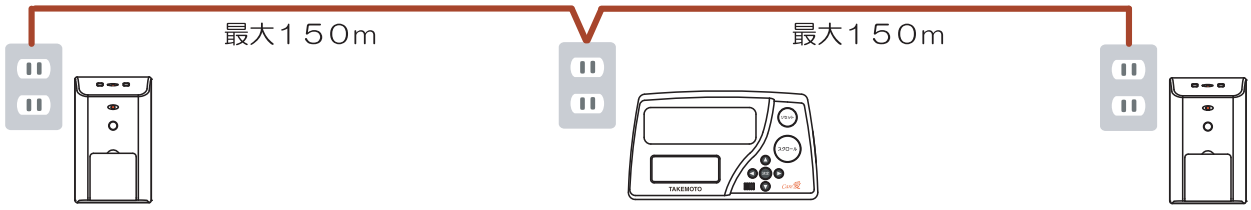
３．天災及び弊社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他正常でない条件での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

１－４．設置に関する注意

１－４－１．コンセント間通信について

コンセント間通信の通信距離について（親機ー子機間）

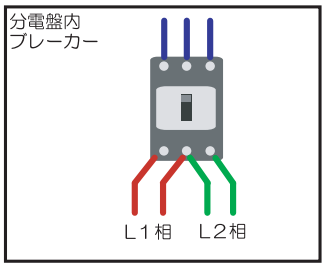
コンセント間通信は、既存の電力線（屋内電気配線）を利用してデータ通信を行います。
実運用下にて最大１５０mまで通信することができます。（通信距離は負荷数に依存します。）



相違いによる制限

一般の１００V コンセントは、分電盤内でＬ１相とＬ２相に分かれています。
Ｌ１相とＬ２相間の相違いの通信は、同相時と比べて信号が減衰するため、
通信距離が短くなる・通信しない恐れがあります。

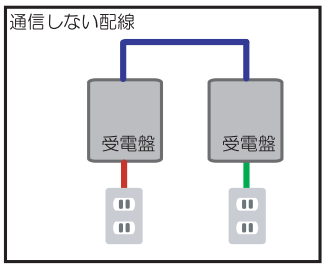
機器を設置後、必ず通信テストを行なってください。



トランスまたぎによる制限

施設にある受電盤内には、高圧の電気を低圧にする為のトランスが入っています。
コンセント間通信はトランスを超えての通信をすることができません。

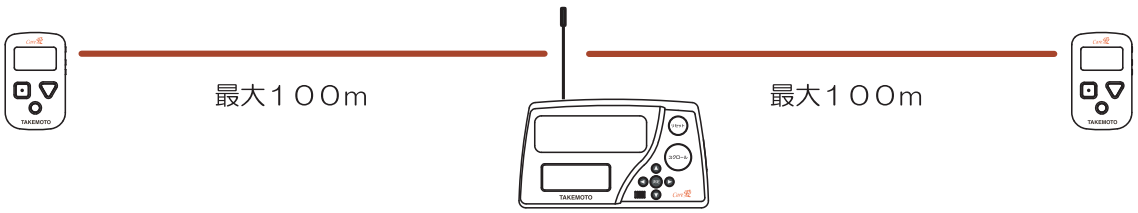
機器を設置後、必ず通信テストを行なってください。



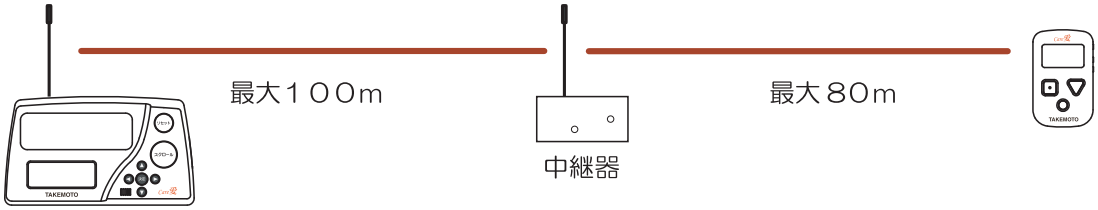
１－４－２．無線通信について

無線通信の通信距離について（親機ーペンダント間）

無線通信は、見通し最大１００mまで通信することができます。
曲がり角や障害物により、通信距離は短くなります。
必ず、設置時電波範囲の確認を行なって下さい。（ペンダントのアンテナ表示より確認が可能）

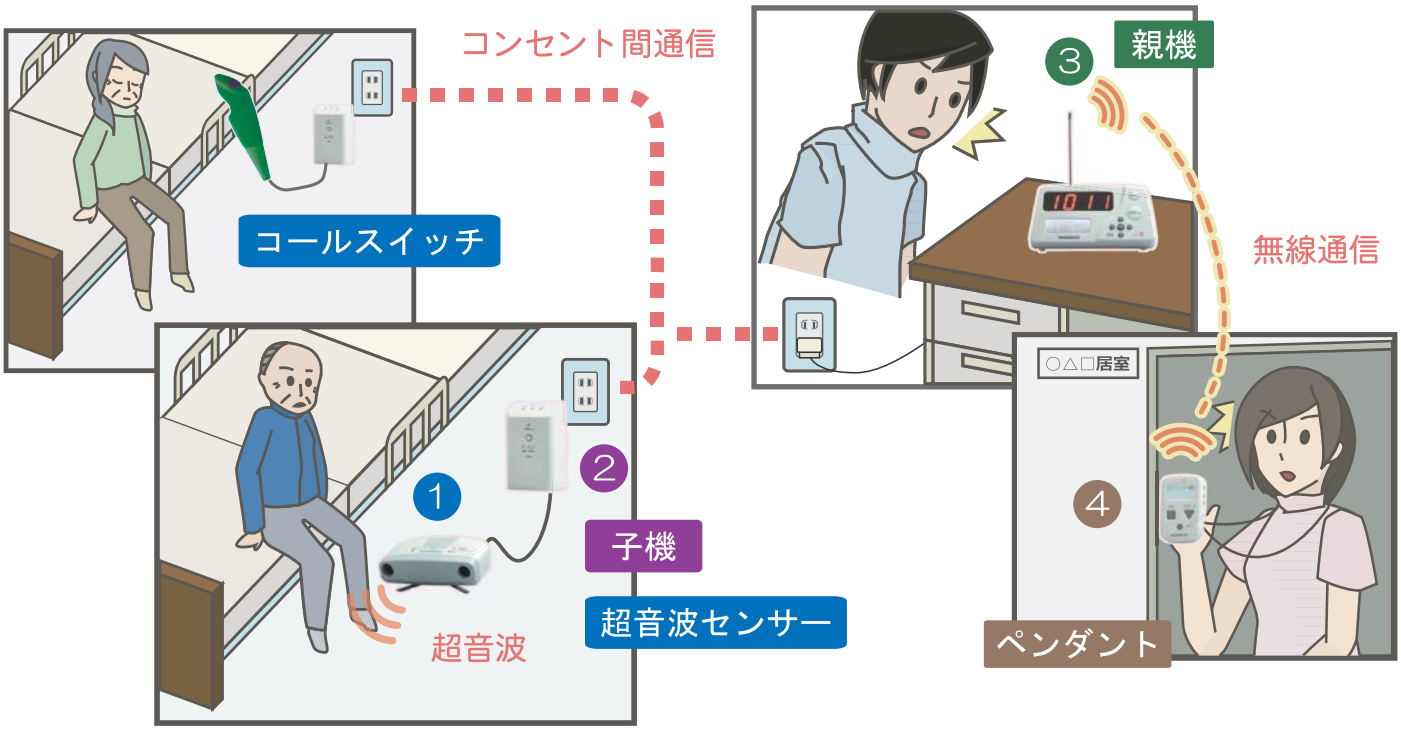


無線が届かない場合や電波が不安定の場合に対し、別途中継器を準備しています。
中継器は最大８０mまで通信することができます。



2. システム概要

システムの流れ



1 超音波センサーが離床をキャッチ／コールスイッチを押す
距離と動作を検出する超音波センサーで対象者の離床を検知します。
コールスイッチを使うことで、簡易呼出装置として使用できます。

2 子機から親機へ離床情報を送信
検知した情報（居室番号・個人番号）を親機へ送信します。

3 親機にてスタッフにお知らせ
大型の４桁 LED とメロディにてスタッフに通知します。

4 ペンダントでスタッフにお知らせ
親機より無線でペンダントへ離床情報を遠隔通知します。

親機１台で最大**20**台の子機を接続可能
子機１台で最大**2**台の超音波センサーまたはコールスイッチを接続可能
親機１台で最大**5**台のペンダントを接続可能
親機は１施設で最大**4**台まで設置可能（親機はフロア毎に１台ずつ設置して下さい）

親機４台 × 子機２０台　＝　１施設最大**80**台の子機を設置可能

3. 初期設定をする

1 親機

離床情報をスタッフに通知

● 事務所のコンセントに電源ケーブルを挿して下さい。

親機の電源が入ります。

詳しくはP15へ

2 ペンダント

スタッフに遠隔通知！

❶ ペンダントは充電式です。（5.5 時間充電で 60 時間使用可）
充電後、ペンダントの電源を入れて下さい。※
（充電完了はブザーでお知らせします。）

■ 又は ▼ 又は ● ：電源を入れる（長押し）

※ 電池は専用充電池を使用しています。他の電池は使用しないで下さい。

ペンダントの電源が入ります。

❷ アンテナ確認を行い、電波が届いていることを確認して下さい。

電波なし ～ 電波最大

詳しくはP30へ

4 コールスイッチ

簡易呼出ができるスイッチ

❶ コールスイッチを子機に挿して下さい。

❷ 子機の設定後、スイッチを押し、通知が親機・ペンダントへ届いていることを確認して下さい。

3 子機

離床情報を親機へ送信！

❶ 親機近くのコンセントに子機を挿して下さい。

子機の電源が入ります。

❷ 居室番号の設定を行います。

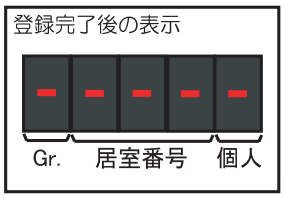
①子機のフタを開けて下さい。
②「決定」ボタンを押すと設定を変更できます。
点滅している数字を変更できます。
居室番号・個人番号を設定して下さい。
③ 再度「決定」ボタンを押すと数字が点灯状態に変わり、変更が完了します。

Gr.：親機のグループ番号 ※
居室番号：設置する部屋番号
個人：相部屋時の個人番号
＋：数字を増やす
→：次の数字に移動
決定：変更の開始・完了

※グループ番号は必ず親機と同じにして下さい。

❸ 居室番号を親機に登録します。

①子機上面にある「登録」ボタンを長押しして下さい。
上面のランプが点滅します。
③ランプが消えると、親機への登録完了です。
表示が「-----」になっているか確認して下さい。



子機を事務所のコンセントから抜き、センサーを設置する居室のコンセントに挿し直して下さい。

詳しくはP22へ

4 超音波センサー

エリアの中の動きを検知！

❶ 何を検知したいですか？

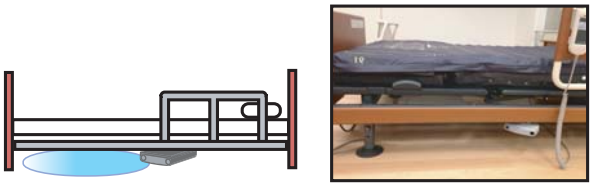
超音波センサーは、シーンに合った使い方ができます。
設置する箇所に応じたモードと取付金具を選びましょう。

ベッド下モード　ベッド上モード　徘徊モード

三脚で床置き　**ベルト**で縛る

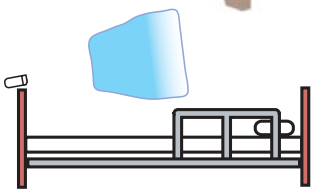
マグネットでくっつける　**クリップ**ではさむ

立ち上がりを検知



ベッド下モード　三　脚　マグネット

起き上がりを検知



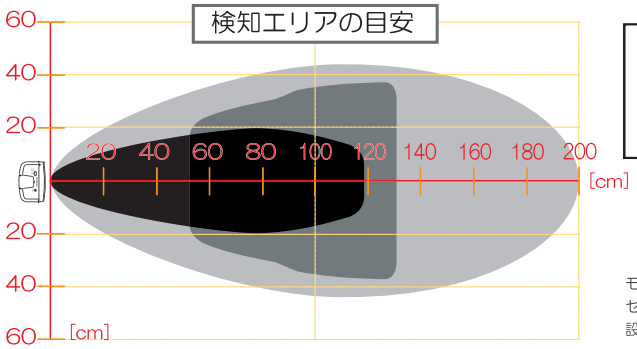
上に向けると寝返りを検知しません

ベッド上モード　ベルト　クリップ

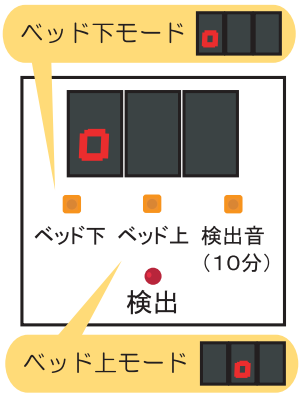
子機とセンサーを繋いでコンセントに挿して下さい。

❷モードを選ぼう。

①センサーのフタを開けて下さい。
②設置する箇所に応じたモードを選んで下さい。（初期：ベッド下）
③取付金具を着けましょう。



モードによりエリアが異なります。
センサーが縦横でもエリアは同じです。
設置環境によりエリアは変化します。



「ベッド下」「ベッド上」同時長押し

徘徊モード

❸ センサーを設置しよう！

取付 Point

・「一時停止」ボタンを長押しすると、１０分だけ通知が止まります。（親機へ余計な通知がいきません。）
・「検出音」ボタンを押すと、検出エリアをブザー音で確認できるようになります。（１０分だけ）

①設置後はセンサーに手をかざし、通知が親機・ペンダントへ届いていることを確認して下さい。
②親機にてコンセント間通信の受信レベルを確認して下さい。

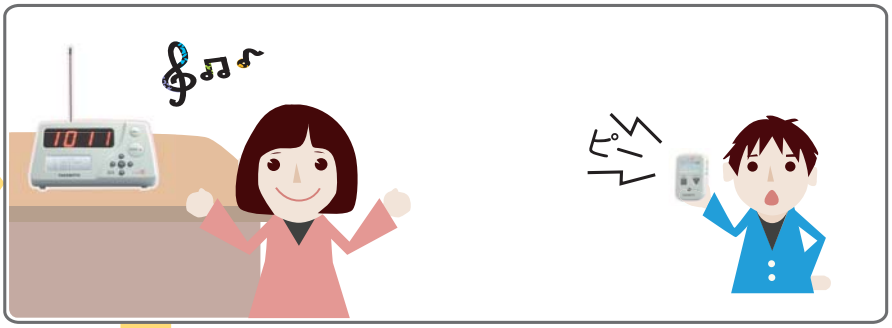
詳しくはP２０へ　詳しくはP２５へ

4．システムの使い方

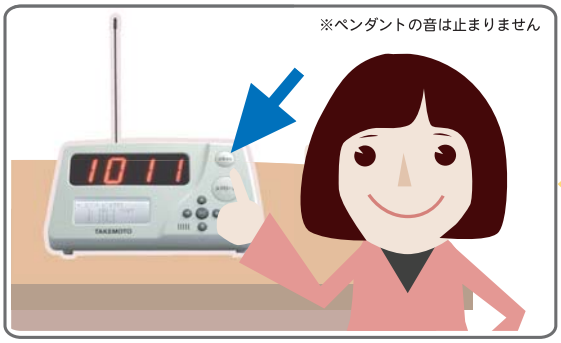
4－1．呼出時の対応

❶ センサーが検知すると

❷ 親機とペンダントへ通知します

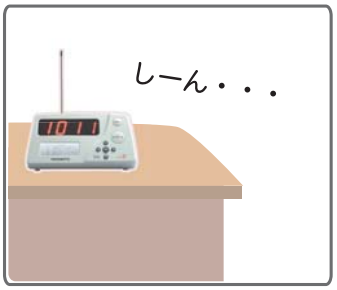


❸ 親機の「リセット」を押すと音が止まります



❹ また、ペンダントの「対応」を押すと・・・

ペンダントと親機の音が止まります



❺ 居室へ介助に行きましょう

❻ 5分後・・・

❼ 自動で表示が消えます

※ すぐ表示を消したいときは・・・

通知後 30秒 は検知をしないインターバル機能があります

使わない時は一時停止ができます
親機でタイマーを入力すると、使用する時間帯を設定できます

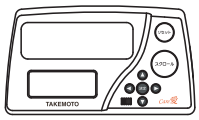
居室を訪問！！　「スタッフを検知したくないのでセンサーを一時停止したい。」

一時停止！！

各機器より居室のセンサーを一時停止することができます。

親機で一時停止

親機より、任意のセンサーを一時停止することができます。
（親機による一時停止については取扱説明書Ｐ１７）

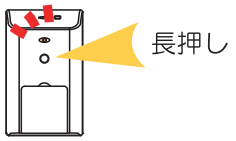


ペンダントで一時停止

ペンダントより、任意のセンサーを一時停止することができます。
（ペンダントによる一時停止については取扱説明書Ｐ３３）

子機で一時停止

リセットボタンを長押しすることで一時停止することができます。
子機・センサーによる一時停止中は一時停止ランプが点灯します。



超音波センサーで一時停止

リセットボタンを長押しすることで一時停止することができます。
子機・センサーによる一時停止中は一時停止ランプが点灯します。

※ 子機・センサーによる一時停止は親機には反映されません。

介護のあとに…

居室のセンサーの一時停止を解除します。

親機で解除

親機より、任意のセンサーの一時停止を解除できます。
（親機による一時停止については取扱説明書Ｐ１７）

※一時停止は一時停止時間経過後、自動で復帰します。

・親機にて一時停止時間を設定する

一時停止時間を変更する場合は取扱説明書P18

ペンダントで解除

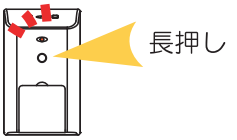
ペンダントより、任意のセンサーの一時停止を解除できます。
（ペンダントによる一時停止については取扱説明書Ｐ３３）

※一時停止は一時停止時間経過後、自動で復帰します。

子機で解除

リセットボタンを長押しすることで一時停止を解除することができます。
解除後、一時停止ランプが消灯します。

※居室側一時停止は１０分経過後、自動で復帰します。



超音波センサーで解除

リセットボタンを長押しすることで一時停止を解除することができます。
解除後、一時停止ランプが消灯します。

※居室側一時停止は１０分経過後、自動で復帰します。

※ 子機・センサーによる解除は親機には反映されません。

※一時停止をすると、コンセントコールの通知も停止します。
十分注意の上、停止をして下さい。

5．親機の取扱説明

５－１．親機の役割

呼出情報をスタッフにお知らせ！

ボタン操作

- リセット：メロディを止める／リセットする（長押し）
- スクロール：呼出情報をスクロールする（複数呼出発生時）

液晶操作ボタン

- ▲：上の項目へ移動／数字を増やす
- ▼：下の項目へ移動／数字を減らす
- ▶：次の項目に移動
- ◀：前の画面に戻る
- 決定：入力を決定

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

子機からの呼出情報をコンセント間通信で受信。
前面の４桁の大型 LED で表示・１２種類のメロディでスタッフにお知らせします。

【特徴】

- 親機１台に対し、子機を最大２０台まで管理可能
  親機１台で最大２０台まで子機を増設することができます。
- さまざまな機能が満載！！

介助の時は検知したくない
①一時停止　…居室の検知を一定時間停止することができます。（取扱説明書 P１７）
先読み介護に最適
②呼出履歴　…一人１００件までの呼出時間を記録できます。（取扱説明書 P17）
③呼出分布　…１時間毎の呼出件数を%表示します。（取扱説明書 P17）
検知したい時間帯を指定
④稼働時間　…特定時間のみの検知が可能です。（夜間のみ 等）（取扱説明書 P18）
一時停止解除忘れの防止
⑤一時停止時間　…一時停止を自動解除する時間を設定することができます。（取扱説明書 P18）
リセット忘れの防止
⑥リセット復帰時間…検知状態を自動リセットする時間を設定することができます。（取扱説明書 P19）
耳で対象者を判断
⑦メロディ設定　…対象者別に、１２種類のメロディを登録することができます。（取扱説明書 P19）

※グループ番号について　（複数の親機がある場合）

親機にはグループ番号があります。（初期設定：１）
親機が複数台ある場合の親機を識別するための番号です。親機は最大４台まで導入することができます。
複数台親機を導入する場合は、必ず親機のグループ番号を変更し、重複しないように設定してください。
グループ番号は１～４の４グループから設定することができます。
グループ番号の変更は、親機を初期化することで行うことができます。
（親機の初期化の仕方については取扱説明書 P34）

５－２．設置方法

必要なもの：親機、電源ケーブル

１．親機に電源ケーブルを挿し、事務所または詰所のコンセントに挿して下さい。

２．時計の時刻合わせを行います。
液晶画面が時計変更の画面に変わります。
時計の設定を行なってください。
△▽ ボタンで数字を変更します。
▷ ボタンで項目を移動します。
決定ボタンを押すと変更が完了します。

時計の設定が終わると設定完了です。

※既に時刻が設定されている場合、この画面は表示されません。

トケイ ヘンコウ
１３／０４／０１ １０：００
≪
００／００／００ ００：００
年 月 日 時 分

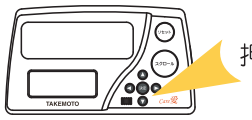
△ ：数字を増やす
▽ ：数字を減らす
▷ ：次の項目に移動
決定：時計変更の完了

親機が複数台ある場合

親機にはグループ番号があります。（初期設定：１）
複数の親機を設置される場合は、必ずグループ番号が重複しないように設定してください。
ここでは、グループ番号の変更方法を記載します。

１．親機の初期化を行います。
▽ボタンを押しながら親機をコンセントに挿し、電源を入れてください。

▽ ＋ 電源を入れる ：初期化



押しながら電源 ON

２．時計の時刻合わせを行います。
上記２．と同様に時計の設定を行なってください。
※一度設定を行なっている場合、この画面は表示されません。

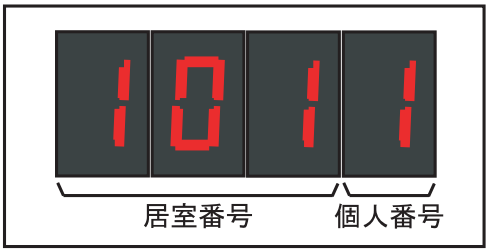
３．グループ番号の設定をします。
親機が２台目のときは【２】、３台目のときは【３】、４台目のときは【４】
に設定してください。
決定ボタンを押すと設定が完了します。

グループ トウロク
１

△ ：数字を増やす
▽ ：数字を減らす
決定：設定を完了

グループ番号の設定が終わると設定完了です。

５－３．親機の使い方



リセット：メロディを止める／リセットする（長押し）

スクロール：呼出情報をスクロールする

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

- 呼出時、LEDにて居室番号と個人番号が表示されます。
  ①リセットボタンを押すとメロディが止まります。
  ②リセットボタンを長押しすると表示が消え、リセットされます。

- 複数呼出情報がある場合、表示は呼出情報が交互に表示されます。
  ①スクロールボタンを押すことで、複数の呼出情報をスクロールし、順番に確認することができます。
  ②リセットする際は、任意の呼出情報を表示させ、リセットボタンを長押しして下さい。

５－４．親機の機能

親機は液晶画面より、様々な機能を使うことができます。
画面の構成は以下のとおりとなっています。

画面構成

1. ジョウキョウ
2. イチジテイシ
3. リレキ
4. ブンプ
5. システムセッテイ

1．呼出状況……現在の呼出状況を見ることができます。
2．一時停止……任意の居室のセンサーを一時停止します。
3．呼出履歴……一人１００件までの過去の呼出時間を記録します。
4．呼出分布……１時間毎の呼出頻度を%表示します。
5．システム設定……その他システムの設定を行います。

システム設定

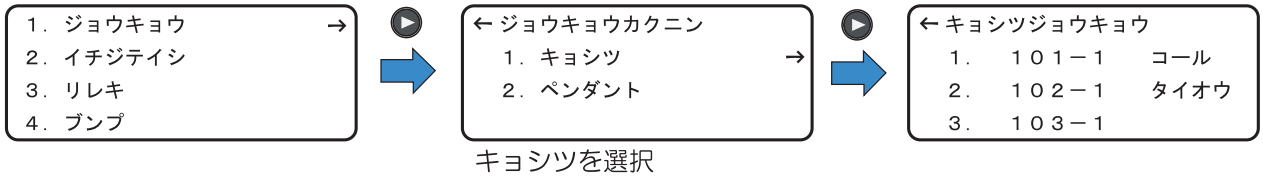
1. カドウジカン
2. イチジテイシジカン
3. イチジテイシリレキ
4. リセットフッキジカン
5. メロディオンリョウ
6. キョシツメロディ
7. ジュシンレベル
8. トケイ
9. グループNo.

――システム設定内――

1．稼働時間……センサーの稼働時間を設定します。
2．一時停止時間……一時停止を自動で復帰する時間を設定できます。
3．一時停止履歴……一人１００件までの一時停止した履歴を表示します。
4．リセット復帰時間…検知状態を自動でリセットする時間を設定できます。
5．メロディ音量……メロディの音量を変更できます。
6．居室メロディ……居室毎にメロディを登録することができます。
7．受信レベル……コンセント間通信の通信レベルを確認できます。
8．時計……時計を現在の時刻に合わせることができます。
9．グループNo.……グループ番号の確認をすることができます。

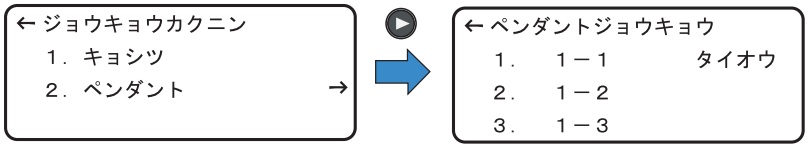
５－４－１．呼出状況を見る

各居室の状況を見ることができます。
呼出中の対象者は番号の横に「コール」が表示されます。
対応されているの対象者は「タイオウ」が表示されます。（ペンダント使用時のみ）



キョシツを選択

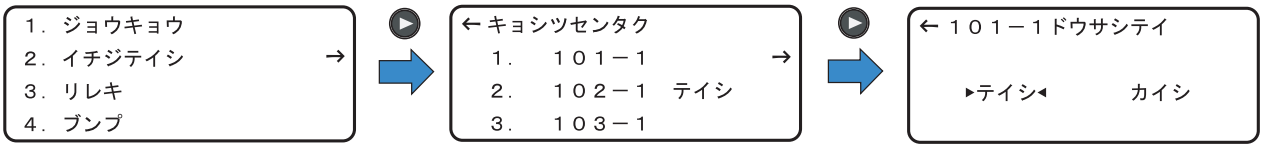
ペンダントの状況を見ることができます。
対応中のペンダントは番号の横に「タイオウ」が表示されます。



ペンダントを選択

５－４－２．一時停止をする／一時停止を解除する

各居室のセンサーを一時停止することができます。
スタッフの介助など、一定時間センサーによる検知をしたくないときにお使いください。

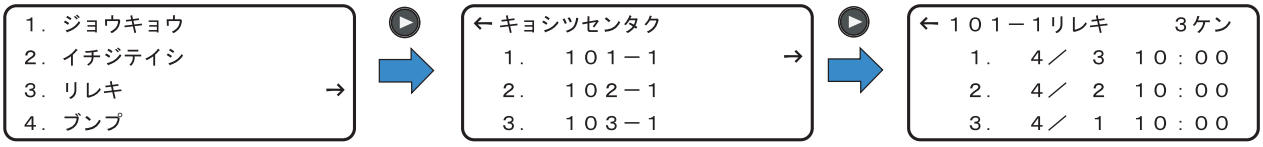


テイシを選択・決定することで、センサーからの検知を表示しません。
カイシを選択・決定することで、停止から復帰し、検知できます。
※一時停止時間経過後、一時停止は自動で復帰されます。

▷：停止／開始を選択
決定：選択を反映

５－４－３．呼出履歴を見る

各居室の呼出履歴を見ることができます。先読み介護の情報としてお使い下さい。
呼出履歴は一人１００件までの過去の呼出時間を記録することができます。
システム全体で、最大２０００件の呼出履歴を記録することができます。

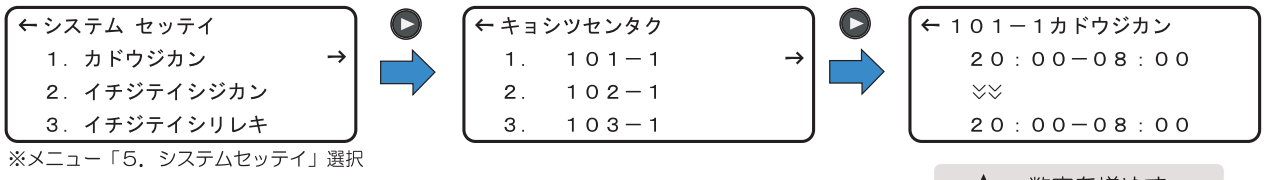


５－４－４．呼出分布を見る

各居室の呼出分布を見ることができます。先読み介護の情報としてお使い下さい。
呼出分布は１時間毎の呼出頻度を%表示することができます。
これにより、呼出状況の統計を出すことができます。
この分布データは、過去１００件までの呼出データから算出されます。

5－4－5．稼働時間を設定する

居室のセンサーの稼働時間を設定することができます。
センサーは、選択された対象者の設定された稼働時間しか検知しません。
夜間のみセンサーが必要…といった際、設定しておくと不要な検知を減らすことができます。

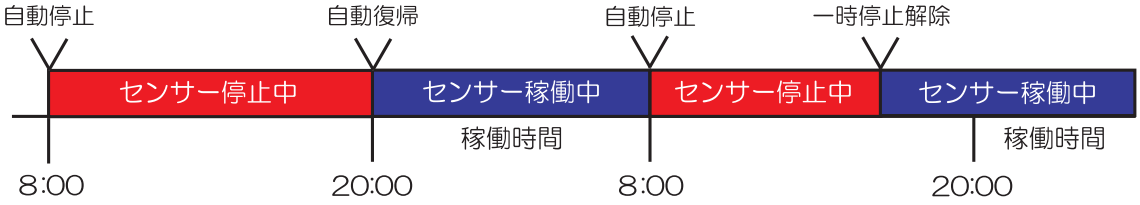


※メニュー「5．システムセッテイ」選択

△：数字を増やす
▽：数字を減らす
▷：次の項目に移動
◁：前の画面に戻る
決定：変更を反映

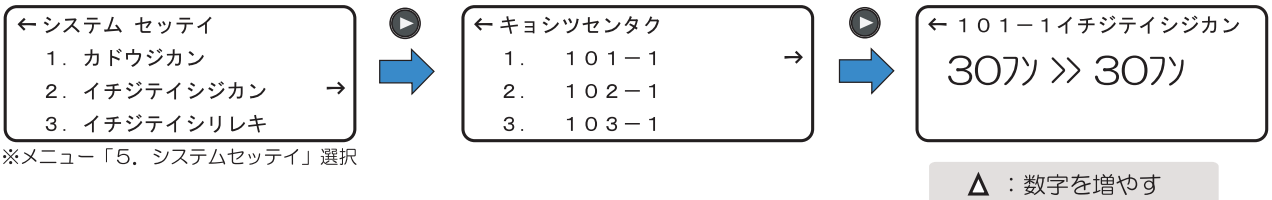
1．稼働時間を同じ時間に設定すると、センサーは停止せず常時稼働します。
（例：２０：００－２０：００）
2．センサーは、稼働時間外は一時停止します。
このとき一時停止を手動で解除すると、次の稼働時間外になるまで
センサーは停止しません。（一時停止については、取扱説明書 P13）
3．稼働時間の終点で停止されます。
また、稼働時間外時に設定を行なった場合、設定後すぐに停止されます。
※稼働停止／稼働開始時の履歴は一時停止履歴内に残ります。（取扱説明書 P18）

（例）20:00 ～ 8:00 を稼働時間に設定した場合の動作



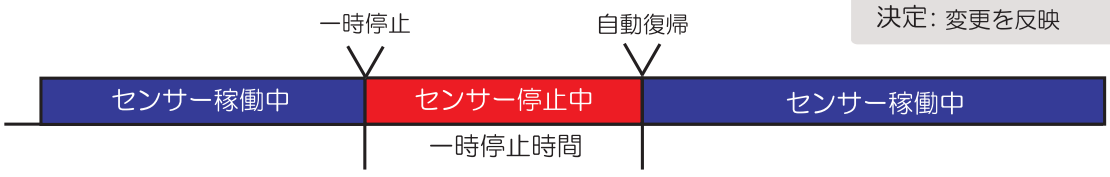
5－4－6．一時停止時間を設定する

センサーが一時停止から自動復帰する時間を対象者毎に設定することができます。
居室のセンサーを一時停止すると、設定時間経過後自動で復帰します。（初期設定：３０分）
これにより、一時停止の解除忘れを防止することができます。
一時停止時間は１～９９分の設定が可能です。
（一時停止については、取扱説明書 P13）



※メニュー「5．システムセッテイ」選択

△：数字を増やす
▽：数字を減らす
決定：変更を反映



5－4－7．一時停止履歴を見る

各居室の一時停止履歴を見ることができます。
履歴は一人１００件までの過去の一時停止した時間・復帰した時間を記録することができます。
また、稼働時間によって停止した時間も記録されます。
※子機・超音波センサーによる停止は反映されません。

※メニュー「5．システムセッテイ」選択

５－４－８．　リセット復帰時間を設定する

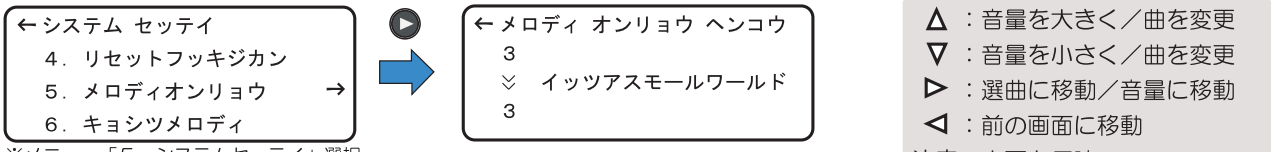
センサーが自動でリセットされ、検知待ちになるまでの時間を対象者毎に設定することができます。
居室のセンサーが検知後、設定時間経過すると離床情報をリセットします。（初期設定：５分）
これにより、リセット忘れを防止することができます。
リセット復帰時間は０～９９分の設定が可能です。
０分に設定すると、自動復帰を行いません。

※メニュー「５．システムセッテイ」選択

△：数字を増やす
▽：数字を減らす
決定：変更を反映

５－４－９．　メロディ音量を設定する

メロディ音量の変更を行います。（初期設定：５）
音量は０～５の６段階で変更ができます。（０のとき無音、５のとき最大音量）
▷ボタンを押すことで流す曲を変更することができます。



※メニュー「５．システムセッテイ」選択

△：音量を大きく／曲を変更
▽：音量を小さく／曲を変更
▷：選曲に移動／音量に移動
◁：前の画面に移動
決定：変更を反映

５－４－１０．対象者毎にメロディを設定する

メロディの変更を行います。（初期設定：イッツアスモールワールド）
メロディは１２種類あり、対象者毎に設定することができます。

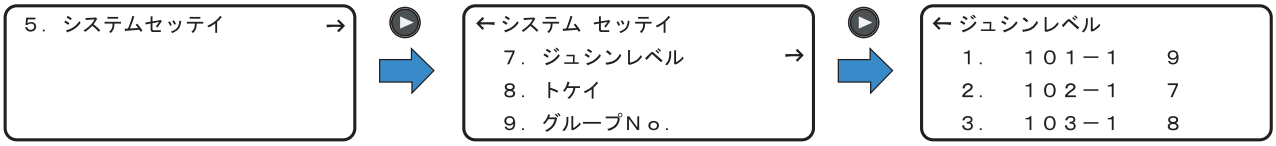
※メニュー「５．システムセッテイ」選択

△：曲を変更（上）
▽：曲を変更（下）
◁：前の画面に戻る
決定：変更を反映

【表示曲名】	【正式曲名】
イッツア スモールワールド	Its a small world
Departure	Departure
ミライ ヨソウズ ２	未来予想図Ⅱ
ロマン ヒコウ	浪漫飛行
ナモナキ ウタ	名もなき詩
Last Christmas	Last Christmas
Merry Christmas	We wish you a Merry Christmas
Jingle Bells	Jingle Bells
Happy Birthday	Happy Birthday to you
Green Sleeves	Green Sleeves
クラシック	主よ人の望みの喜びよ
ミッキー マウス マーチ	ミッキーマウスマーチ

５－４－１１．受信レベルを確認する

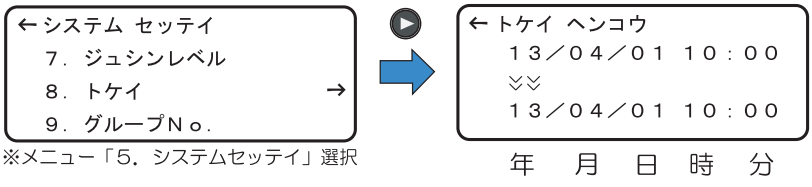
コンセント間通信における受信レベルを確認することができます。
通信強度は０～９の１０段階で表示されます。（０のとき最小、９のとき最大）



通信レベルが４以下の場合、通信が不安定になる恐れがあります。
通信レベルが高いコンセントへ挿し替えて下さい。

５－４－１２．時計を設定する

時計の時刻合わせを行います。
時計のデータは離床履歴にも使われます。

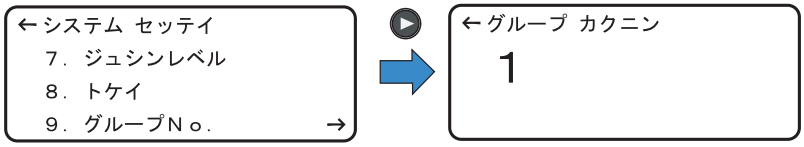


※メニュー「５．システムセッテイ」選択

△：数字を増やす
▽：数字を減らす
▷：次の項目に移動
◁：前の画面に戻る
決定：変更を反映

５－４－１３．グループ番号を確認する

グループ番号の確認をすることができます。（初期設定：１）
複数台親機を持つ場合、同一グループ番号がないことを必ず確認してください。



※メニュー「５．システムセッテイ」選択

◁：前の画面に戻る

・グループ番号を変更する場合

親機のグループ番号を変更するには、一度親機を初期化しなければなりません。
初期化すると、親機内の全てのデータは消え、子機を再登録する必要があります。
履歴など、記録を残したいデータは事前に記録を残してください。

初期化の方法（取扱説明書P34）を参照下さい。

6. 子機の取扱説明

6－1．子機の役割

呼出情報を親機へ送信！

超音波センサーが検知した、
コールスイッチを押した呼出情報を
コンセント間通信で親機へ送信します。

ボタン操作

登録
□ ：親機に子機を登録する（長押し）

解除
□ ：親機から子機を解除する（長押し）

○ ：センサーを一時停止する（長押し）

▬ 一時停止

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

ランプ表示

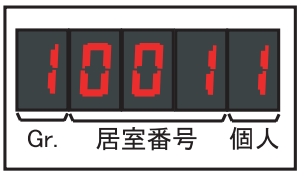
登録完了後
消灯
● ：未登録時点灯
登録時点滅
登録完了時消灯

● ：一時停止時点灯
一時停止中

【特徴】

子機は最大２０台まで増設可能

親機１台で最大２０台まで子機を増設することができます。
子機は１桁のグループ番号、３桁の部屋番号、１桁の個人番号の合計５桁の番号で登録されます。
設定する際は他の子機と番号が重複しないようにして下さい。



Gr.：親機のグループ番号
部屋番号：設置する居室番号
個人：相部屋時の個人番号

※グループ番号については取扱説明書 P14

子機１台に超音波センサーまたはコールスイッチを２台まで増設可能

子機には入力ポートが２つあります。
これにより対象者に対して最大２台までセンサーまたはコールスイッチを設置することができます。

親機への通知を停止することが可能

親機への通知を１０分間停止することができます。
センサーを設置する際、余計な通知をしないよう、停止する機能です。

３０秒インターバル機能

一回離床すると、３０秒間通知があがりません。
これにより、何度も通知が上がったり…なんてことがありません。
インターバル時間は子機にて変更することができます。（取扱説明書Ｐ２３）

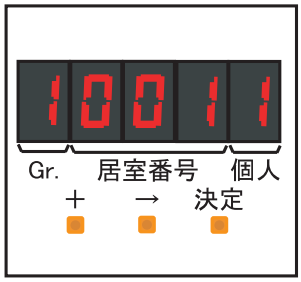
※子機には弊社指定の機器以外は絶対に挿さないでください。
機器が故障するだけではなく、火災、感電の原因になります。
コールスイッチ使用時に一時停止をすると、通知が上がりません。

6－2．設置方法

必要なもの：子機

1．親機近くのコンセントに子機を挿して下さい。

2．センサーを設置する居室番号の設定を行います。
①決定ボタンで設定変更ができます。
②変更中は変更箇所の数字が点滅します。
＋ボタンで数字を変更します。
→ボタンで次の項目に移動します。
③決定ボタンを押すと数字が点灯に変わり、
変更が完了します。



初期表示

Gr.：親機のグループ番号
部屋番号：設置する部屋番号
個人：相部屋時の個人番号
＋：数字を増やす
→：次の数字に移動
決定：変更の開始・完了

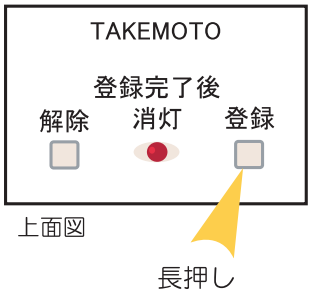
※グループ番号は親機と必ず同じにして下さい。

例）グループ番号：１
居室番号：１２３号室
個人番号：１さん

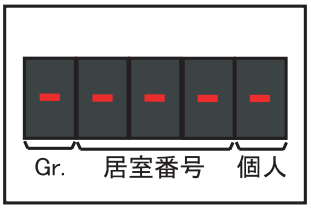
3．居室情報を親機に登録します。
①上面にある登録ボタンを長押しして下さい。
上面のランプが点滅します。
ランプが消えると親機への登録が完了です。
②表示が「-----」になっているか確認して下さい。

・ランプが消えない場合・表示が右図にならない場合

一定時間経過しても登録が完了しない場合、初期表示に戻り、ランプは点灯します。
トラブルシューティング（取扱説明書P36）を参照下さい。



上面図



登録完了後の表示

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

4．子機を居室に設置します。
センサーを設置する居室に子機を移動して下さい。（解除ボタンは押さないでください。）

●子機を離床検知システムから外す場合●

子機をシステムから外す場合、上面にある解除ボタンを長押しすることで登録を削除することができます。
必ずこの操作後、子機をコンセントから抜いてください。
上面のランプが点滅後、点灯すると解除完了です。
解除すると、親機・ペンダントから子機の情報が削除されます。

・親機・ペンダントに情報が残っている場合

解除を押しても機器の電源が入っていなかったり、ペンダントが圏外にあると、各機器に子機の情報が残ることがあります。
親機に残ってしまった場合は、取扱説明書P34 を参照下さい。
ペンダントに残ってしまった場合は、取扱説明書P35 を参照下さい。

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

・子機を移動する場合

子機を移動する場合、居室番号等を再入力する必要があります。
一度子機をシステムから外してから再度設置してください。
（上記「●子機を離床検知システムから外す場合●」を参照ください。）
居室番号の変更をしない場合は、そのままコンセントから抜くだけで子機を移動することができます。

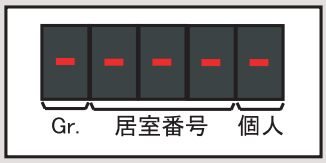
6－3．子機の使い方

LED 表示について

LED 表示は子機の動作状況に応じて表示が変わります。

登録されているとき

離床がない待機状態のとき

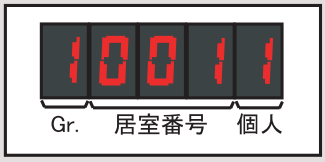


登録完了後
消灯
登録時消灯

子機が親機に登録され正常に動作しています。
決定ボタンを押すことで居室情報を表示します。

登録されていないとき

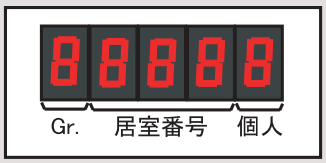
居室情報の入力を行います。



登録完了後
消灯
未登録時点灯
登録中点滅

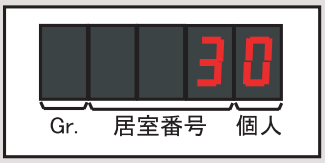
設定された居室情報を表示します。

呼出後の通知状態のとき



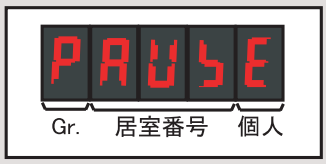
呼出され、親機へ通知している状態です。
LED は点灯表示します。
親機との通信中、LED は点滅表示します。
通知状態は３０秒経過すると待機状態に戻ります。

インターバル時間を設定する



→ボタンの長押しで、インターバル時間を表示します。
＋ボタンで時間を選択できます。
（１０・２０・３０【初期】・４０・５０・６０秒）
選択後、決定ボタンを押すことで変更されます。

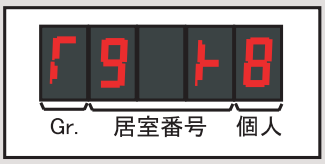
親機への通知停止状態のとき



一時停止中
通知停止時点灯

親機への通知を一時停止しています。
LED は点滅表示しています。
停止は１０分後、自動で解除されます。

通信レベルを表示する



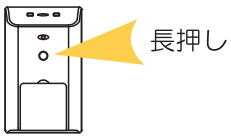
決定ボタンの長押しで、通信強度を表示します。
通信強度は0～9の１０段階（0：最小 ～ 9：最大）

：子機から親機への通信強度

：親機から子機への通信強度

通知停止機能

親機への通知を１０分間停止することができます。
再度ボタンを長押しすることで、停止を解除することができます。



一時停止
：通知を一時停止する
（長押し）

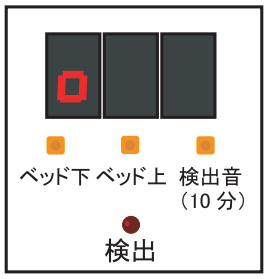
※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。
コールスイッチを使用時も通知が停止します。ご注意下さい。

7．超音波センサーの取扱説明

7－1．超音波センサーの役割

距離＆動作で離床を検知！

対象者との距離計測により離床を検知
設定なしで簡単設置が可能



LED 表示

：検知距離を表示

ボタンの操作

ベッド下　：ベッド下モードに移行（初期設定）

ベッド上　：ベッド上モードに移行

ベッド下 ＋ ベッド上　：徘徊モードに移行（同時長押し）

検出音　：検出時ブザーでお知らせ

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

ランプ表示

検出　：検出時点灯

【特徴】

対象者との距離と動作で離床を検知

センサーは、人体に影響がなく、環境に強い超音波センサーを使っています。
超音波センサーは、対象者との距離を測定し、対象者が動くことで検知します。

子機１台に対し、最大２台まで接続可能

子機１台で最大２台まで超音波センサーを接続することができます。
ベッドの両サイドから降りられる場合などにご使用下さい。

検知シーンを分ける３つのモード

モードを使い分けることで、様々な用途で使用することが可能です。

ベッド下モード：０m～ 1.2mの特定のエリアを検知することができます。（初期設定）
シーン①…ベッド下に設置し離床を検知、トイレの入室を検知 等

ベッド上モード：0.5m～ 1.3mの特定のエリアを検知することができます。
シーン②…ベッド上に設置し起き上がりを検知

徘徊モード：０～ 2mのオープンスペースでの人の動きを検知します。
シーン③…玄関や廊下に設置し徘徊を検知

※布団のずれ落ちなどで検知することがあります。検知エリアには布団が落ちないようご配慮下さい。
※徘徊モードは極力オープンスペースで使用してください。
※超音波センサーは向い合って設置しないでください。誤検出する恐れがあります。
※超音波送受信部（２穴部）には物を入れないでください。センサーが検出できなくなります。

7－2．設置方法

必要なもの：超音波センサー、接続ケーブル、子機

1．超音波センサーと子機とを接続ケーブルで繋いで下さい。
　子機をコンセントに挿してください。超音波センサーの電源が入ります。

2．センサーを設置します。
設置箇所とセンサーの検知エリアを確認してください。
センサー検出時、検出ランプが点灯します。
また、検出中をブザーで知らせることができます。
　検出ランプが見えない場合など、センサー設置時のエリア確認にご使用ください。
　検出ブザーは１０分経過すると自動で OFF されます。

検出音　：検出時ブザーでお知らせ
　検出時、ブザーが鳴動

検出　：検知時点灯

検出ブザー ON 時

検出ブザー OFF 時

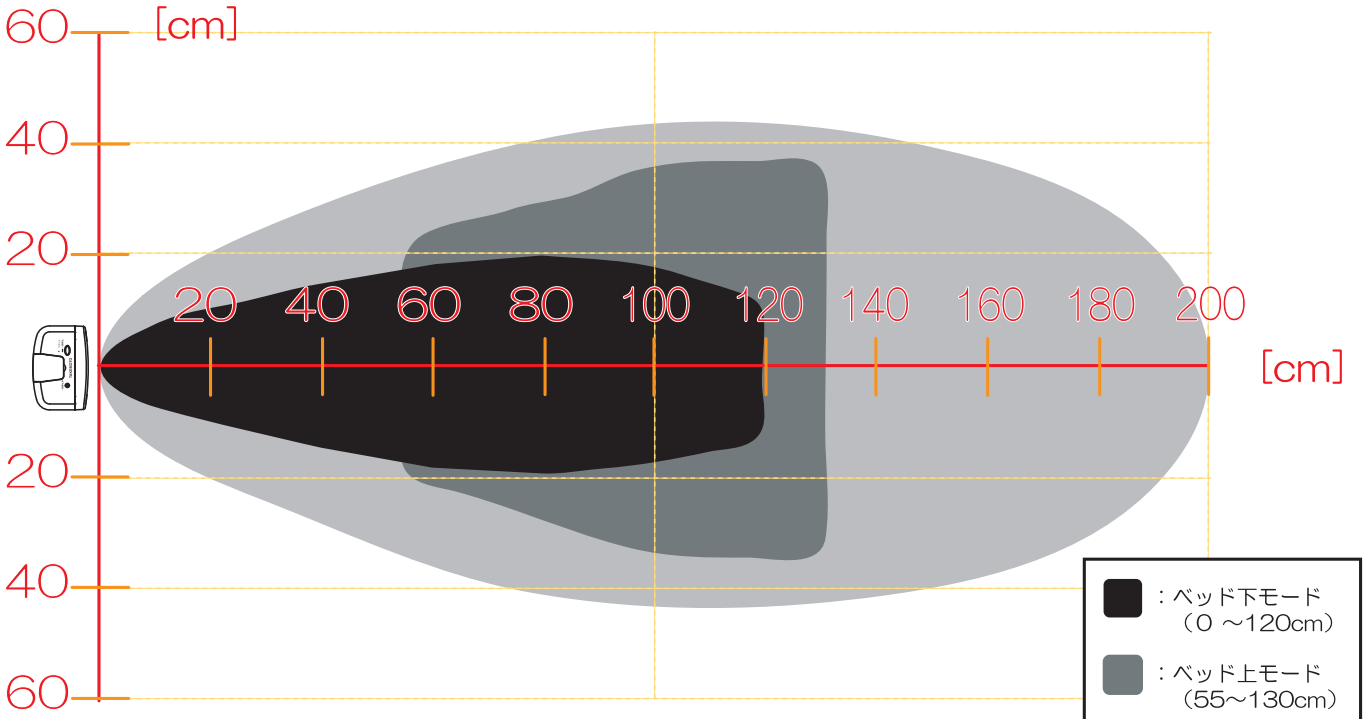
※センサーの設置は用途に応じ、設置場所が変わります。また、設置箇所に応じた取付金具をご使用ください。

・ベッド下に設置：離床を検知（設置箇所については取扱説明書 P27）
・ベッド上に設置：起き上がりを検知（設置箇所については取扱説明書 P27）
・ベッド端に設置：離床前を検知（設置箇所については取扱説明書 P28）

取付具
　三脚式（床置向け）
　マグネット式（ベッド下向け）
　クリップ式（ベッド上・ベッド端向け）
　ベルト式（ポールへの取付け等）

Point
設置中は、一時停止機能を使うことで
余計な通知が発報されません。（→P２６）

・センサーの検出エリアの目安



モードによりエリアが異なります。
センサーが縦横でもエリアは同じです。
設置環境によりエリアは変化します。

7－3．超音波センサーの使い方

LED 表示について

LED 表示は超音波センサーの動作状況に応じて表示が変わります。

モード表示

通常時、モードを表示します。
現在のモードの計測可能距離を表示します。

ベッド下モード

ベッド下

ベッド上モード

ベッド上

徘徊モード

ベッド下 ＋ ベッド上
（同時長押し）

ブザー表示

検出音ボタンを押すことで検出時のブザー動作を
切換えることができます。
ボタンを押したときのみ、ブザー動作を表示します。

検出時ブザー ON

検出音（ブザー ON 時）

検出時ブザー OFF

検出音（ブザー OFF 時）

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

通知停止機能

親機への通知を１０分間停止することができます。
再度ボタンを長押しすることで、停止を解除することができます。
センサーを設置する際、余計な通知をしないよう、停止する機能です。

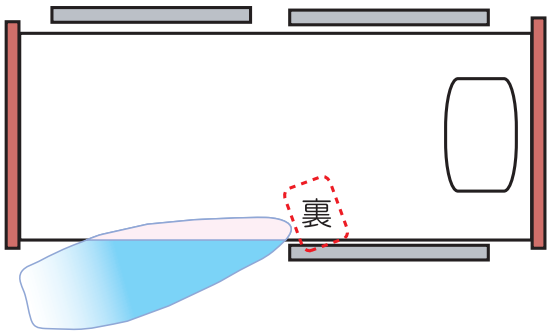
長押し

一時停止 ：一時停止する
（長押し）

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

7－4．設置箇所について

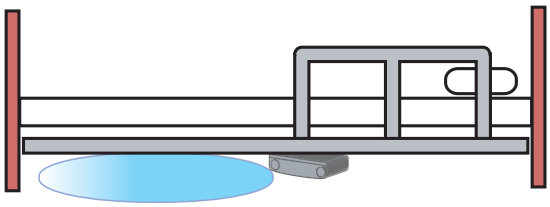
ベッド下に設置する場合
　ベッド下に設置することで、対象者の離床を検知することができます。
　取付具はマグネット式でベッド下に取り付けるか、三脚式で床に置いて設置して下さい。



【推奨モード】
　ベッド下モード
　（モードについては取扱説明書 P24）

【取付具】
　三脚式またはマグネット式

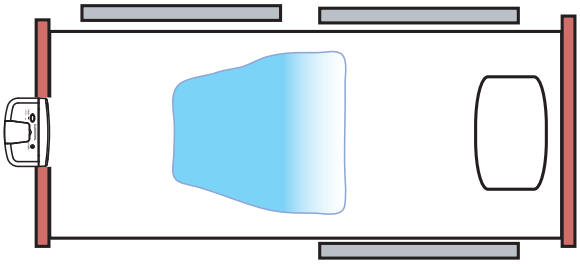
※徘徊モードでは使用しないでください。



・センサーの設置について

センサーの検出範囲については、取扱説明書P２５
設置時の注意事項については、取扱説明書P３８

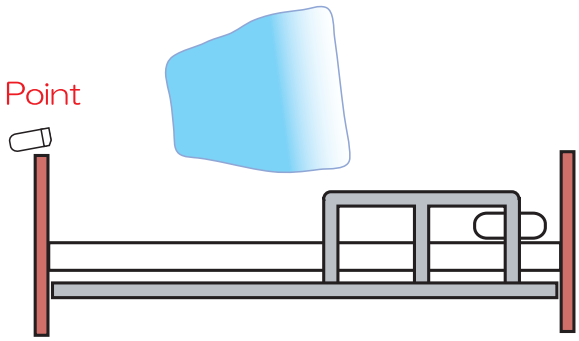
ベッド上に設置する場合
　ベッド上に設置することで、対象者の起き上がりを検知することができます。
　取付具はクランプ式を使用し、ベッド端のサイドボードへ設置して下さい。



【推奨モード】
　ベッド上モード
　（モードについては取扱説明書 P24）

【推奨取付具】
　クランプ式

※徘徊モードでは使用しないでください。



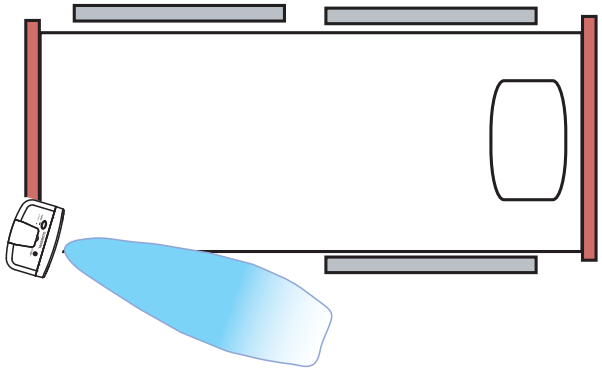
Point
１０°～１５°上に向けると、
寝返りを検知しません。

取付け
前後注意

・センサーの設置について

センサーの検出範囲については、取扱説明書P２５
設置時の注意事項については、取扱説明書P３９

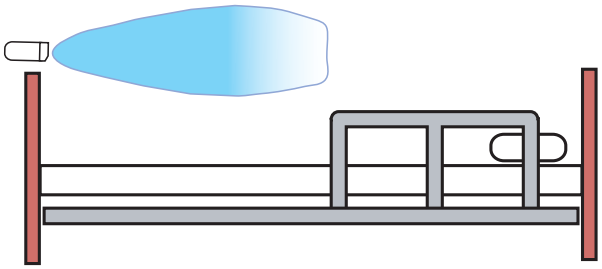
ベッド端に設置する場合
ベッド端に設置することで、対象者の離床前を検知することができます。
取付具はクランプ式を使用し、ベッド端のサイドボードの角へ設置してください。



【推奨モード】
ベッド下モード
（モードについては取扱説明書 P24）

【推奨取付具】
クランプ式

※徘徊モードでは使用しないでください。



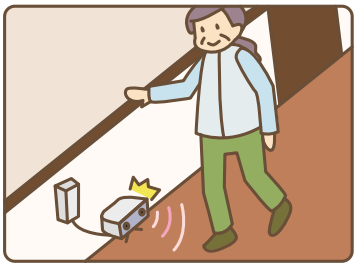
・センサーの設置について

センサーの検出範囲については、取扱説明書P２５
設置時の注意事項については、取扱説明書P３９

●その他の設置箇所●

本製品はコンセントがあれば容易に設置することが可能です。
トイレの中に設置することで、トイレの在室を検知することができます。
また、玄関や廊下に設置することで、徘徊を検知することができます。
検知したい場所・シーンに合わせて設置をしてください。

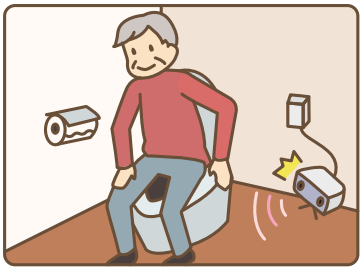
徘徊を検知したい場合



【推奨モード】
徘徊モード
（モードについては取扱説明書 P24）

【推奨設置具】
三脚式

トイレへの入室を検知したい場合



【推奨モード】
ベッド下モード
（モードについては取扱説明書 P24）

【推奨設置具】
三脚式

8．ペンダントの取扱説明

8－1．ペンダントの役割

呼出情報を音＆振動でお知らせ！

親機からの離床情報を無線で遠隔通知
見通し１００mのエリアをカバー

液晶表示

- ：音量表示
- V ：バイブの ON・OFF 表示
- ：無線通信のアンテナ表示
- ：電池残量表示

メインボタンの操作

離床時の操作／メニュー時の操作

- ■：対応／決定
- ▼：スクロール
  ／メニューを開く（長押し）・下へ移動
- ●：リセット／前の画面に戻る

■ 又は ▼ 又は ● ：電源を入れる（長押し）
■ ＋ ▼（同時押し）：電源を切る（長押し）

サイドボタンの操作

バイブ
- ：バイブの動作切換 ／ 通知時ブザー停止

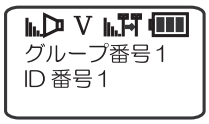
音量
- ▲：通知する音量を上げます
- ▼：通知する音量を下げます

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

【特徴】

親機１台に対し、最大５台まで登録可能

親機１台で最大５台までペンダントを登録することができます。
ペンダントはグループ番号と ID 番号により登録されます。



グループ・ID 確認画面

グループ番号 ：対応する親機のグループ番号です。
（グループ番号については P14）
ID 番号 ：親機に登録されるペンダントの番号です。

スタッフ間連携機能

ペンダントが複数ある場合、一方で対応すると、他のペンダントから離床表示がなくなります。
これにより、スタッフ間で連携が取れ、同一居室でのスタッフの鉢合わせがなくなります。
（使い方については取扱説明書 P12）

リセット・一時停止が可能

ペンダントから離床情報のリセットができます。
ペンダントからセンサーの一時停止ができます。
ペンダントからセンサーの一時停止の解除ができます。
（リセット・一時停止については取扱説明書 P12）

充電池を使用

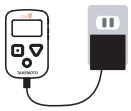
ニッケル水素充電池を使用し、AC アダプターによる充電が可能。
５．５時間の連続充電で、６０時間の使用ができます。

※ 電池は専用充電池を使用しています。他の電池は使用しないで下さい。

8－2．設定方法

必要なもの：ペンダント

1．ペンダントを充電してください。
充電には AC アダプターを使用して下さい。
充電完了時、ブザーで知らせます。



：充電中

2．ペンダントの充電後、電源を入れます。　※親機の電源を入れ、親機の近くで設定して下さい。

■ 又は ▼ 又は ● ：電源を入れる（長押し）

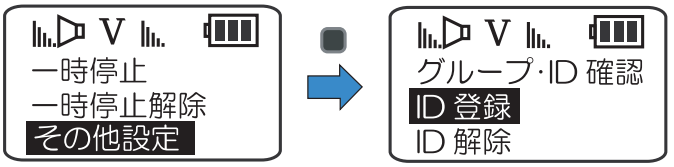
※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

3．スクロールボタンを押すと、メニュー画面が表示します。
グループ番号設定で、親機と同じグループ番号に設定して下さい。（親機初期設定：１）

■：決定
▼：メニュー（長押し）／下へ移動
●：戻る

※長押しは１秒間ボタンを押し続けて下さい。

4．ペンダントを親機へ登録します。ID登録を行います。



■：決定
▼：下へ移動
●：戻る

親機への登録の完了をブザーでお知らせします。

ピー♪
親機に登録されました。
待受画面に移ります。

ピピピ♪
親機に登録されませんでした。
親機と通信できません。

・親機に登録できない場合
親機に登録できない場合については、取扱説明書P37

5．グループ・ID確認画面より、ID番号が登録されていることを確認することができます。

グループ・ID 確認画面

：ID登録済の場合、アンテナマークが表示されます。

：ID未登録の場合、アンテナマークは表示されません。
再度ID登録を行なって下さい。

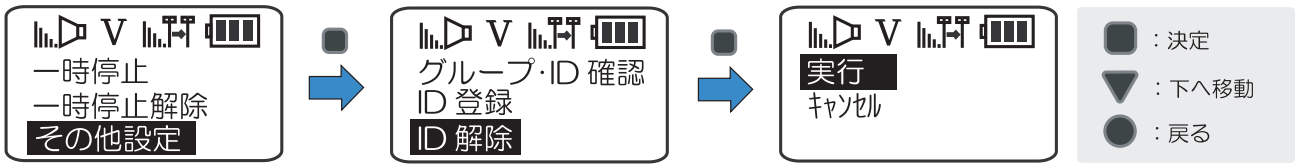
6．センサーを検知させ、通知がペンダントまで届くか確認して下さい。
アンテナマークを確認し、電波の状況を確認して下さい。

・ペンダントに通知されない場合
ペンダントに通知されない場合については、取扱説明書P37

※複数のペンダントを登録する際は１台ずつ登録してください。ID登録を複数同時に行わないでください。
複数同時に登録すると、同じID番号のペンダントが発生し、正常に動作しない恐れがあります。

●ペンダントを離床検知システムから外す場合●

ペンダントをシステムから外す場合、ID解除をすることで登録を解除することができます。



ID登録の解除をブザーでお知らせします。

ピー♪
親機から解除されました。
待受画面に移ります。

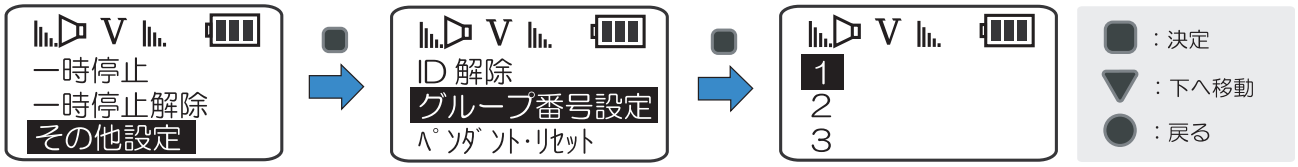
ピピピ♪
親機から解除されませんでした。
親機と通信できません。

・親機から解除できない場合

解除が出来ない場合については、取扱説明書P37

●グループ番号を変更する場合●

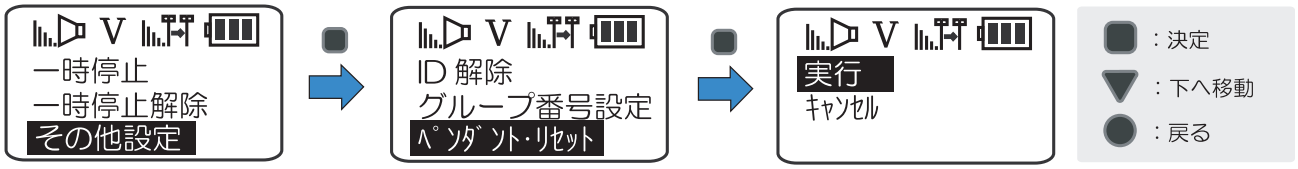
ペンダントのグループ番号を変更することができます。
グループ番号の変更はID番号が登録されていないときしかできません。
グループ番号は必ず登録したい親機と同じ番号に設定して下さい。



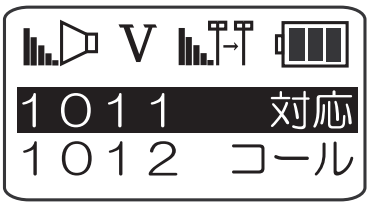
●ペンダントを初期化する●

ペンダント・リセットを選択することで、ペンダントの初期化をすることができます。

※ペンダントが親機に登録されている状態で初期化すると、親機のペンダント登録情報は削除されません。
別途親機にてペンダント登録を削除して下さい。（取扱説明書P34）



8－3. ペンダントの使い方



離床時の操作／メニュー時の操作
- ■：対応／決定
- ▼：スクロール
  ／メニューを開く（長押し）・下へ移動
- ●：リセット／前の画面に戻る

- 離床検知時、居室番号と個人番号が表示されます。
  側面バイブボタンを押すと、ブザーとバイブが止まります。
  ■対応ボタンを押すと表示が「離床」から「対応」に変わります。
  ●リセットボタンを押すと表示が消え、リセットされます。
  ※ペンダントからリセットするときは、対応操作をしないとリセットされません。

- 複数離床情報がある場合、新しい離床情報が上段になるように表示されます。
  ▼スクロールボタンを押すことで、複数の離床情報をスクロールし、順番に確認することができます。
  任意の離床を選択し、■対応ボタンを押すと表示が「離床」から「対応」に変わります。
  リセットする際は、任意の対応した離床情報を表示させ、●リセットボタンを押して下さい。
  ※ペンダントからリセットするときは、対応操作をしないとリセットされません。

表示記号について

- 通知音量の変更
  音量は側面音量ボタンで変更できます。
  音量は0～5の6段階で変更できます。（0のとき無音、5のとき最大）

  音量：0 ～ 音量：5

  音量 ▲：通知する音量を上げます
  音量 ▼：通知する音量を下げます

- バイブ動作の変更
  通知時にバイブ動作の有無を変更できます。

  ― または V
  バイブなし　バイブあり

  バイブ：バイブの動作切換

- アンテナの確認
  親機とペンダント間の電波の状態を確認できます。
  電波の状態は0～5の6段階で確認できます。（0のとき電波なし、5のとき最大）

  電波：0 ～ 電波：5

  ：ID 登録なし（アンテナマークなし）
  （同一グループ番号の親機の電波状態を表示）

- 電池残量の確認
  ペンダントの電池残量を確認できます。
  電池の状態は0～3の4段階で確認できます。（0のとき電池残量希薄、3のとき最大）

  電池：0 ～ 電池：3

  ：充電中

  ※電池残量が0のときは、すぐに充電して下さい。
  ※充電完了時、ブザーで知らせます。
  ※5．5時間の連続充電で60時間使えます。

8－4．ペンダントの機能

ペンダントはメニュー画面より、各機能を使うことができます。
画面の構成は以下のとおりとなっています。

メニュー画面
- 一時停止
- 一時停止解除
- その他設定

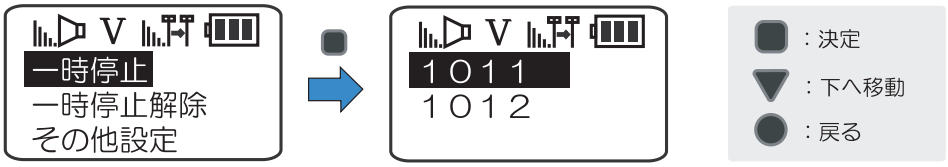
その他設定
- ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ID 確認
- ID 登録
- ID 解除
- ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号設定
- ﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ･ﾘｾｯﾄ

一時停止：対象者のセンサーを一時停止することができます。
一時停止解除：停止してある対象者のセンサーを稼働することができます。

――その他設定――
グループ・ID 確認：ペンダントの登録状況を確認することができます。
ID 登録：同一グループの親機にペンダントを登録することができます。
ID 解除：ID 登録を解除することができます。
グループ番号設定：グループ番号を設定することができます。
ペンダント・リセット：ペンダントの初期化を行います。

8－4－1．ペンダントにて一時停止をする

対象者を選択することで、対象者のセンサーを一時停止することができます。



一時停止の完了をブザーでお知らせします。

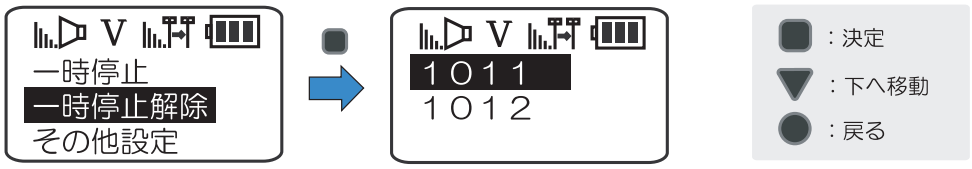
ピー♪
一時停止されました。

ピピピ♪
一時停止されませんでした。
親機と通信できません。

・親機と通信できない場合
通信ができない場合については、取扱説明書P37

8－4－2．ペンダントにて一時停止を解除する

一時停止している対象者のセンサーを解除し、稼働することができます。



一時停止解除の完了をブザーでお知らせします。

ピー♪
一時停止を解除されました。

ピピピ♪
解除されませんでした。
親機と通信できません。

・親機と通信できない場合
通信ができない場合については、取扱説明書P37

9．故障かなと思ったら

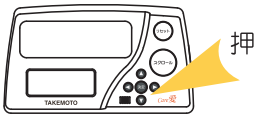
9－1．機器を初期化する

機器を初期化します。初期化することで、設定のない状態にすることができます。
初期化すると、内部のデータ・設定は全て消えます。

親機を初期化する

∇ ボタンを押しながら電源を入れることで、親機の初期化を行います。
親機を初期化すると、親器内の全てのデータは消去されます。事前に記録を残してください。
親機を初期化しても子機は初期化されません。子機を解除後、再度登録して下さい。

∇ ＋ 電源投入：初期化



押しながら電源 ON

初期化されるもの
・機器の登録情報
・離床履歴や離床分布
・システム設定内の登録データ

初期化されないもの
・時計設定

初期化すると、グループ番号の入力を行うことができます。
グループ番号の変更は初期化をしないと行えません。

```
グループトウロク
  1
```

Δ ：数字を増やす
∇ ：数字を減らす
決定：設定を完了

※グループ番号の変更画面に移らない場合、初期化は行われていません。再度、初期化の操作を行なってください。

●機器登録情報を強制削除する●

離床状況の画面で ▷ ボタンを長押しすることで、親機内の登録情報を強制的に削除することができます。
※親機による強制削除では、親機内のデータは消えますが、子機やペンダントのデータは消えません。
このとき、削除された子機が呼出をしても、親機・ペンダントでは通知されません。

子機の登録情報の削除

```
← キョシツジョウキョウ
  1．  １０１－１
  2．  １０２－１
  3．  １０３－１
```

→

▷ ボタン長押しで → が表示

Δ∇ボタンで選択
決定ボタンで決定

```
← １０１－１カイジョ
  ▸No◂ Yes
```

Δ∇ボタンで No/Yes を選択
決定ボタンで決定

ペンダントの登録情報の削除

```
← ペンダントジョウキョウ
  1．  １－１
  2．  １－２
  3．  １－３
```

→

▷ ボタン長押しで → が表示

Δ∇ボタンで選択
決定ボタンで決定

```
← １－１カイジョ
  ▸No◂ Yes
```

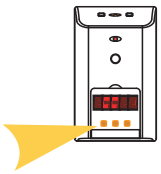
Δ∇ボタンで No/Yes を選択
決定ボタンで決定

※長押しは３秒間ボタンを押し続けて下さい。

子機を初期化する

＋ボタンを押しながら電源を入れることで、子機の初期化を行います。
子機を初期化しても、親機内の子機登録データは削除されません。
親機より、初期化した子機の登録データを削除してください。（取扱説明書 P34）

＋ ＋ 電源投入：初期化



押しながら電源 ON

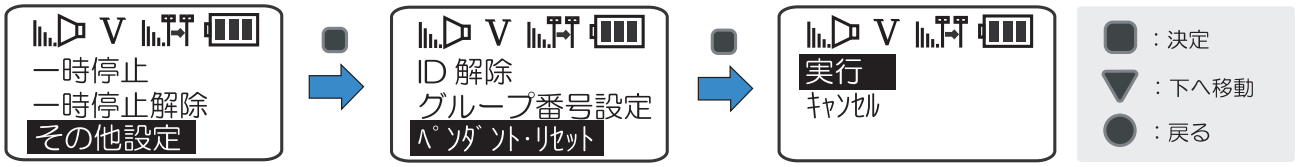
初期化されるもの
・子機の登録情報

初期化されないもの
・親機内の子機登録情報

※初期化後、画面は「１００１１」を表示します。
違う表示をする場合、初期化は行われていません。再度、初期化の操作を行なってください。

ペンダントを初期化する

ペンダント・リセットを選択することで、ペンダントの初期化をすることができます。
※ペンダントが親機に登録されている状態で初期化しても、親機のペンダント登録データは削除されません。
親機より、ペンダントの登録データを削除してください。（取扱説明書P34）



9－2．トラブルシューティング

箇所	症状	原因と対策	取扱説明書参照ページ
親機	離床情報が表示しない。	●親機と子機でグループ番号が合っていない。 →グループ番号をそろえてください。	P22
		●子機が登録されていない。 超音波センサーが設置されていない。 →機器の登録・設置をしてください。	P22・P25
		●コンセント間通信が正常に動作していない。 →コンセント間通信が通信しない場合を参照してください。	P37
		●親機の電源を切った。 →親機の電源を切ると、電源再投入時は離床はリセットされます。	－
	メロディが鳴らない。	●メロディ音量が0。 →メロディ音量を上げてください。	P18
	登録されていない機器が表示する。	●子機・ペンダントを初期化した。 →機器を初期化しても、親機内に機器の情報は残ります。 機器の情報を削除してください。	P34
		●機器を紛失した。 →機器の情報を削除してください。	P34
子機	登録、解除ができない。	●親機の電源が入っていない。 →親機の電源を入れ、初期設定をしてください。	P34
		●既に同じ番号の子機が親機に登録されてある。 →重複した番号の子機は登録できません。 再度異なる番号で子機を登録してください。	P22
		●親機と子機でグループ番号が合っていない。 →機器間のグループ番号をそろえてください。	P22
		●居室番号と個人番号が両方0である。 →登録情報を全て0では、親機に登録できません。 居室番号または個人番号を入力してください。	P22
		●コンセント間通信が正常に動作していない。 →コンセント間通信が通信しない場合を参照してください。	P37
	居室番号の設定ができない。	●すでに子機が登録されている。 →子機の解除をしてください。（取扱説明書P22） →子機の初期化を行なってください。（取扱説明書P35）	－
	一時停止ができない。	●コンセント間通信が正常に動作していない。 →コンセント間通信が通信しない場合を参照してください。	P37
		●スイッチが壊れている。 →購入店または弊社までご連絡ください。	－
	リセットができない。	●コンセント間通信が正常に動作していない。 →コンセント間通信が通信しない場合を参照してください。	P37
		●スイッチが壊れている。 →購入店または弊社までご連絡ください。	－
超音波センサー	センサーが検知しない。	●センサー部が汚れている。 →綿棒などで埃を取ってください。	－
		●子機間のケーブルが抜けている。 →接続ケーブルをきちんと挿してください。	－
		●子機間のケーブルが断線している。 →購入店または弊社までご連絡ください。	－
		●子機の電源が入っていない。 →登録された子機をコンセントに挿してください。	－
		●子機が登録されていない。 →子機の登録を行なってください。	P22
		●センサーが一時停止している。 →一時停止を解除してください。	P13
		●稼働時間外である。 →稼働時間の設定をしてください。	P17
	センサーが誤検知する。	●布団が検出エリアに落ちてある。 →布団が落ちないようご配慮ください。	－
		●ベッド下など物がある空間で徘徊モードになっている。 →設置箇所に適したモードを設定してください。	P27・P28
		●超音波センサーが向い合って設置されている。 →超音波センサーを向かい合って設置しないでください。	－

箇所	症状	原因と対策	取扱説明書 参照ページ
超音波センサー	一時停止ができない。	●子機間のケーブルが断線している。 →購入店または弊社までご連絡ください。	—
		●コンセント間通信が正常に動作していない。 →コンセント間通信が通信しない場合を参照してください。	P３７
		●スイッチが壊れている。 →購入店または弊社までご連絡ください。	—
	リセットができない。	●子機間のケーブルが断線している。 →購入店または弊社までご連絡ください。	—
		●コンセント間通信が正常に動作していない。 →コンセント間通信が通信しない場合を参照してください。	P３７
		●スイッチが壊れている。 →購入店または弊社までご連絡ください。	—
ペンダント	離床情報が表示しない。	●ペンダントが親機に登録されていない。 子機が親機に登録されていない。 超音波センサーが設置されていない。 →機器の登録・設置をしてください。	P10・P11
		●電波が届かない。 →アンテナマークのレベルを確認しくてください。 距離が届かない場合、中継器を導入してください。	P32
		●親機とペンダントでグループ番号が合っていない。 →グループ番号をそろえてください。	P31
		●同じグループ番号で同じIDのペンダントがある。 →ペンダント･リセット後、親機にて登録情報を消してください。	P34・P35
	親機に登録できない。	●親機にペンダントが５台登録されてある。 →ペンダントは親機１台につき、５台までしか登録 できません。	—
		●電波が届かない。 →アンテナマークのレベルを確認しくてください。 距離が届かない場合、中継器を導入してください。	P8・P32
	親機から解除できない。	●親機にペンダントの登録がない。 →ペンダントリセットをしてください。	P31
		●電波が届かない。 →アンテナマークのレベルを確認しくてください。 距離が届かない場合、中継器を導入してください。	P8・P32
	ペンダントが同じID番号で登録された。	●ペンダントを複数同時に登録した。 →ペンダント･リセット後、親機にて登録情報を消してください。	P34・P35
	電源が切れない。	●待受画面になっていない。 →待受画面に戻してから電源を切ってください。	P29
	離床情報が残っている。	●電波が届かない。 →アンテナマークのレベルを確認しくてください。 距離が届かない場合、中継器を導入してください。	P8・P32
	一時停止ができない。	●電波が届かない。 →アンテナマークのレベルを確認しくてください。 距離が届かない場合、中継器を導入してください。	P8・P32
	リセットができない。	●電波が届かない。 →アンテナマークのレベルを確認しくてください。 距離が届かない場合、中継器を導入してください。	P8・P32
通信	コンセント間通信が通信しない。	●コンセントの相・系統が異なる。 →購入店または弊社までご連絡ください。	P8
		●配線が１５０m以上ある。 →受信強度を調べてください。 購入店または弊社までご連絡ください。	P8・P19
		●同時に離床が５件以上発生した。 →２秒の間に５件以上離床が発生すると、 離床情報が拾えないことがあります。	—
		●コンセントノイズが多くて通信しない。 →受信強度を調べてください。 購入店または弊社までご連絡ください。	P19
		●親機・子機がコンセントに挿さっていない。 →機器を接続してください。	P10・P11
	無線通信が通信しない。	●電波が届かない。 →アンテナマークのレベルを確認しくてください。 距離が届かない場合、中継器を導入してください。	P8・P32

センサー設置の注意事項

ベッド下で使う場合

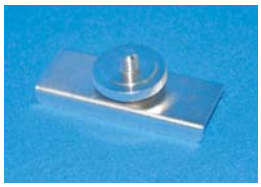
立ち上がりを検知

端座位の状態を検知

三脚式

取付後のセンサーの高さ
57mm

マグネット式

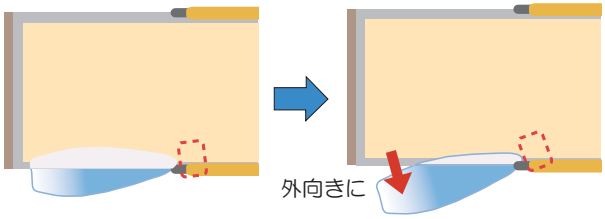


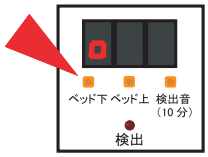
取付後のセンサーの高さ
52mm

設置のコツ

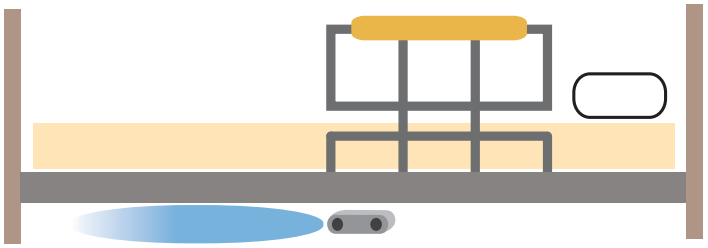
- ☐ ベッドのケーブルやセンサーのケーブルがない
- ☐ カーテンが検知エリアにない
- ☐ 布団がずれ落ちていない
- ☐ 取付金具がきちんと締まっている

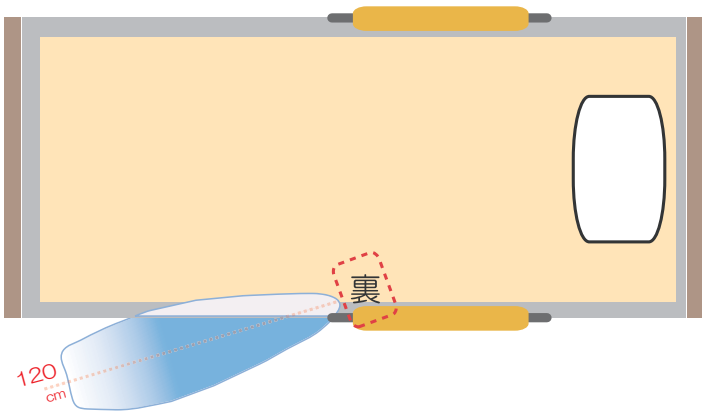
☐ 急激な温度変化でも検知することがあります
検知エリアには極力、物を置かないようにしましょう





ベッド下モード
※必ずモードを確認してください





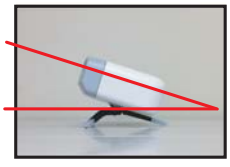
検出音で必ずエリアを確認してください

玄関で使う場合

徘徊を検知

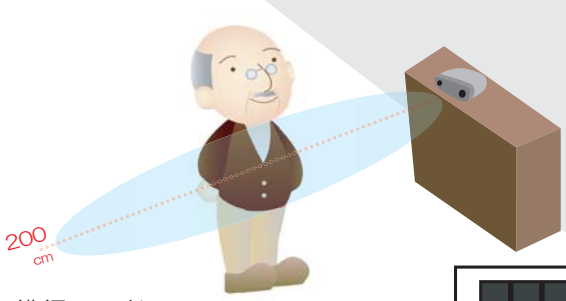
センサーを横切ると検知

設置のコツ

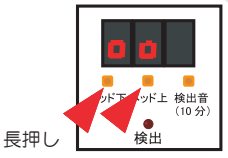


オープンスペースで使用しましょう
障害物があるとその付近での検知が鈍くなります（徘徊モード）
センサーの角度を上に向けると検知が安定します

検出音で必ずエリアを確認してください

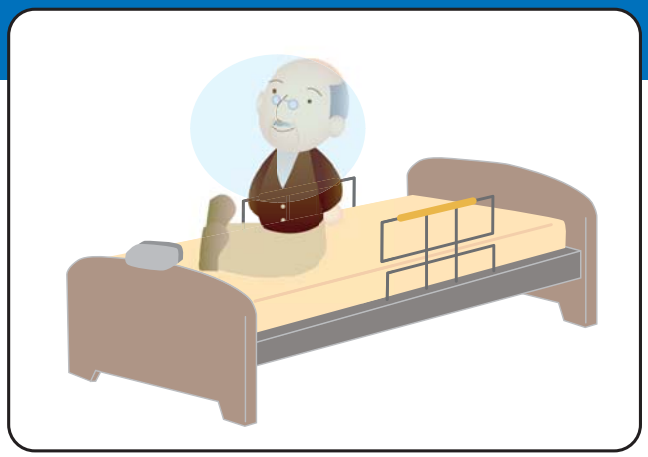


徘徊モード
※必ずモードを確認してください



長押し

センサー設置の注意事項



ベッド上で使う場合

起き上がりを検知

早期対応が可能になります

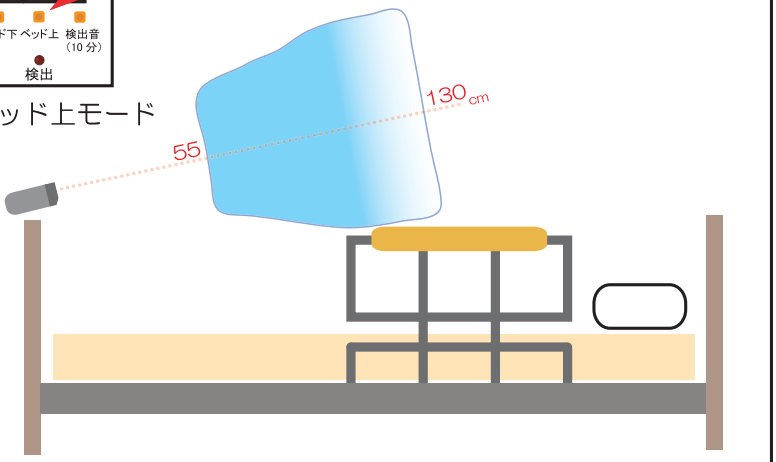
クランプ式

取付対象：板状
取付幅
0～20mm

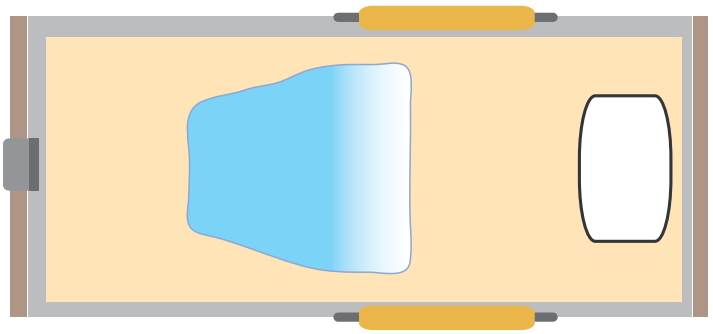
ベルト式

取付対象：パイプ
取付径
φ18～φ36mm

ベッド上モード



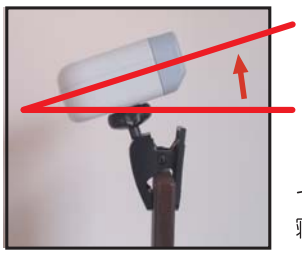
センサーが動かないようにしっかり設置しましょう



検出音で必ずエリアを確認してください

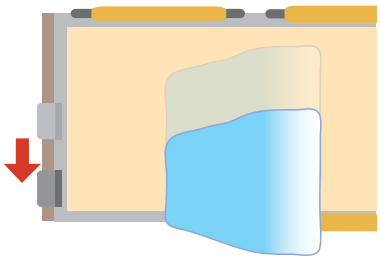
※起き上がりを検知するため、ベッドからのずり落ちは検知できません

設置のコツ

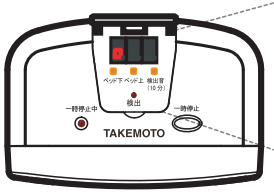


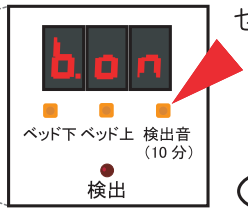
センサーを上向きにすれば
寝返りを検知しません。

降り口側へセンサーを寄せると
検知漏れする恐れが少なくなります。

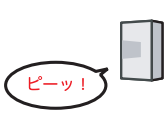


検出音機能





センサーが検知するとブザーが鳴ります
（１０分で自動 OFF）



⚠ 安全に関する注意点 必ずお読みください

- センサーは角度が変わらないようにしっかり固定してください。
  設置角度が変わると検知エリアが変わり、正常に作動しません。
  （掃除機による接触・人が触る・ケーブルをひっぱる 等）
- 電動ベッド動作時、センサーに干渉しないことを確認してください。
- 振動の大きな場所では使用しないでください。
- 本製品の使い方を十分把握の上お使いください。
- センサーの検知を正常に保つよう、日常点検をお願いします。
- センサーが確実に固定されていない場合は即座に使用を中止してください。
- 取付金具は本製品のみに使用し、別の用途では使用しないでください。
- 製品の故障や誤動作が直接人命に関わるような使い方はしないでください。
- 本製品は転倒・徘徊防止の補助手段として使用します。
  万一発生した事故による損害については当社は一切の責任を負いません。

９－３．期待寿命及び推奨交換時期について

機器の期待寿命及び、推奨交換時期は以下のとおりです。

機器名	型名	期待寿命	推奨交換時期
親機（標準仕様）	Ci-M1	１０年	１０年
親機（ペンダント仕様）	Ci-M1-P	１０年	１０年
子機	Ci-S1	１０年	１０年
超音波センサー	Ci-U1	１０年	１０年
ペンダント	Ci-P1	５年	５年

※　期待寿命とは：機器・材料が標準仕様条件下で使用される場合に、機能の低下が実用上支障ない程度であると期待できる年数のことです。
この年数は、機器・材料の寿命を保証するものではありません。

９－４．定期点検について　　【【【 重要 】】】

コンセント間通信は既存のコンセント内の電源線を用いて通信します。
そのため、コンセントの接続負荷数の変化や、電気工事などの配線状況の変化により、通信環境が変わります。
定期的に通信が正常かを受信レベルにて確認して下さい。（１ヶ月に１度を推奨）

※電気工事実施後は特に確認の必要があります。

点検の仕方

１．　現在お使いの全てのコールスイッチを押す、またはセンサーを検知させることで、
順次親機へ通知を上げて下さい。
（通知が上がらない場合は、販売店又は弊社までご連絡下さい。）

２．　親機の受信レベルを確認して下さい。
（親機の受信レベルの確認については取扱説明書Ｐ２０）
全ての居室の受信レベルが５以上か確認して下さい。
（受信レベルが５未満の場合は、販売店または弊社までご連絡下さい。）

記録例

居室番号	通知の可否	通信レベル

居室番号	通知の可否	通信レベル

保証書

保証は上枠にご記載したご購入時の情報が必要となりますので、大切に保管してください。
本製品の品質は、下記の通り保証させていただいております。
万一不具合な点がございましたら、お買い上げの販売店又は当社にお申し付け下さい。
【保証期間】出荷日より３年と致します。（ペンダント、電池及びスイッチは１年とさせて頂きます。）
【補償範囲】保証期間中に弊社の責による故障が発生した場合は、弊社の責任において修理又は交換を行います。
但し、次の場合は保証の範囲外とさせていただきます。
①使用状態が正常でない場合（製品取扱説明書に基づく使用でない場合）
②不当な改造、修理による場合
③運搬、落下などによる場合
④天災、災害などによる場合
尚、ここで言う保証は製品のみの保証であり、製品の故障により誘発される損害についてはご容赦頂きます。
正常な使用で故障した場合、保証期間内において無償修理させていただきます。
【注意事項】
保証書を添付の上、ご返送ください。
初期不良および故障に関しては事前にご連絡の上、商品のご返送をお願いします。
事前連絡なく、商品だけ送られてきても受け取りできませんのでご注意ください。

保証期間		
	親機（標準仕様）（Ci-M1）	お買い上げの日から３年
	親機（ペンダント仕様）（Ci-M1-P）	お買い上げの日から３年
	子機（Ci-S1）	お買い上げの日から３年
	超音波センサー（Ci-U1）	お買い上げの日から３年
	ペンダント（Ci-P1）	お買い上げの日から１年
	コールスイッチ（Ci-PB1）	お買い上げの日から１年

施設名　　お名前

住所　〒

電話番号

お取り扱い店

タケモトデンキ株式会社

〒532-0027 大阪市淀川区田川 3-5-11
TEL:06-6300-2168　FAX:06-6308-7766
http://www.takemotodenki-kaigo.jp

T-46512　2015.07